

# Information

2020年7月

お得意様 各位

## 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)/PCR 受託開始のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当センターをご利用いただきまして誠にありがとうございます。

この度、下記項目に付きまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白

### 記

項目名		基準値
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)/PCR		検出せず
依頼コード	37778 唾液材料	
	37777 唾液以外の材料	
受託開始日 2020年8月3日(月)受付分より		

本検査は、下気道由来検体(喀痰、気管吸引液、気管支肺胞洗浄液)や鼻咽頭ぬぐい液、唾液をおもな検体として新型コロナウイルスをリアルタイム RT-PCR 法(SHIMADZU nCoV 2019 新型コロナウイルス検出試薬キット使用)により検出し感染の有無を判定いたします。

検査受託は該当感染症に関する指定医療機関、帰国者・接触者外来、発熱外来を設置している医療機関からのお預かりに限定いたします。

SHIMADZU nCoV 2019 新型コロナウイルス検出試薬キット

「臨床検体を用いた評価結果が取得された 2019-nCoV 遺伝子検査方法について」

(結果は国立感染症研究所の病原体検出マニュアルに従った方法と遜色のない結果が得られております。)




(<https://www.niid.go.jp/niid/images/lab-manual/2019-nCoV-17-20200421.pdf>)

株式会社盛岡臨床検査センター

〒020-0841 岩手県盛岡市羽場 13-30-3

TEL019-639-9211

<http://www.morioka-rinshou.co.jp/index.html>

依頼コード	No 37777 / 37778				
検査項目名	新型コロナウイルス/PCR				
材料容器	優先	材料	容器	必要量	保存方法
	1	喀痰・気管吸引液 気管支肺胞洗浄液	50 mL 滅菌遠沈管(LP)	1～2mL	冷蔵
	2	鼻咽頭ぬぐい液	ウイルス輸送液入りチューブ	1本	冷蔵
	3	唾液	50 mL 滅菌遠沈管(LP)	1～2mL	冷蔵
所要日数	2～3				
検査方法	リアルタイム RT-PCR 法				
基準値	検出せず				
単位	なし				
報告範囲	陽性、検出せず				
検査実施料 / 判断料	1800 点 / 150 点(微生物学的検査)				
備考	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>綿棒</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ウイルス輸送液</p>  </div> </div> <div style="text-align: center;"> <p>LP</p>  </div> <p>1. 採取後は全て容器の外側をアルコールで消毒を行い密栓しパラフィルムでシールをしてください。 その後、容器に患者属性ラベルを貼り、必ず材料名を記入もしくは材料シールをお貼りください。 検体は冷蔵にてご提出ください。</p> <p>2. 鼻咽頭ぬぐい液の採取には滅菌綿棒で採取を行い、先端部 3～4cm をウイルス輸送液入りチューブへ入れてください。 メーカーを問わず各種ウイルス輸送液入りチューブも使用可能です。容器選択については弊社担当営業員までお問い合わせください。</p> <p>3. 各種下気道由来検体及び唾液については、スクリーキャップチューブ(LP)に適量を採取してください。 唾液検体の採取、提出方法は、3 ページ目をご覧ください。 <b>※唾液で検査をご希望の場合は、症状発症から 9 日間までの唾液をご提出ください。</b></p> <p>4. 検体提出に際しては、感染性物質の輸送規則に関するガイダンスに従い、医療機関においてカテゴリーB の基本 3 重梱包の対応をお願いいたします。</p> <p>5. ウイルス RNA の分解を考慮し、検査開始までに 48 時間以上を要する場合には検体を凍結保存(－20℃、可能なら－80℃)してください。凍結検体の提出方法については弊社担当営業員までお問い合わせください。</p>				

【資料に関する参考URL】

厚生労働省：[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_11636.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_11636.html)

唾液を用いた PCR 検査の導入について

唾液を用いた PCR 検査に係る厚生労働科学研究の結果について

国立感染症研究所：<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/019-ncov/9325-manual-200121.html>

「2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・輸送マニュアル」  
～2020/06/02 更新版～

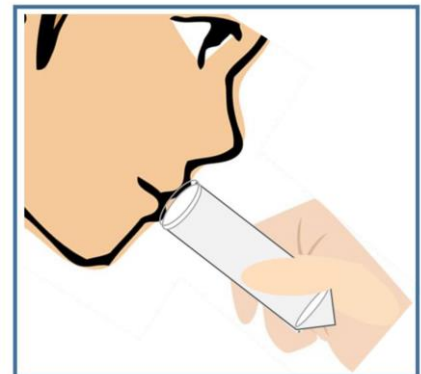
### 《唾液検体の採取について》

唾液の場合、おおよそ発症から 9 日間程度は、ウイルス検出率も比較的高いことが報告されています。  
(鼻咽頭ぬぐい液陽性の患者の唾液検体 85~93%前後で陽性)  
加えて、発症後 10 日目以降の唾液については、ウイルス量が低下することが知られており、推奨されません。

### 《唾液検体の採取・提出方法》

#### ①患者様自身による唾液の採取

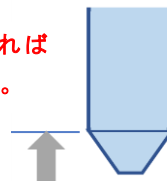
- 1) 予め1~2分、口を閉じて俯き、口腔内に唾液を溜めてもらってください。
- 2) 弊社指定の50mL滅菌遠沈管を手渡し、そこに少しずつ出してもらうことを数回繰り返し、1~2mLを採取してください。



#### ②採取した唾液検体の提出

- 1) 規定量の唾液が採取されていることを確認いただき、遠沈管の外側に患者様の唾液が付着している可能性がありますので、アルコール消毒を確実に行ってください。
- 2) 輸送中に絶対に漏れ出すことがないようにキャップを強く閉め、さらに必ずその上をパラフィルムでシールしてください。
- 3) 依頼書ならびに検体貼付ラベルには、患者氏名(カタカナ)に加え、カルテIDなど同姓同名であっても識別できる同一の複数の情報をご記入いただき、さらに材料名「唾液」もご記入ください。

斜面の角を超えれば  
2mL 以上あります。



採取材料の記入



検体貼付ラベル

### 《注意事項》

- ・ 採取直前のうがいや飲食、歯磨きは避けてください。
- ・ 唾液中のウイルスが希釈されて感度低下を招くことが懸念されるため、刺激唾液ではなく安静時唾液を採取してください。
- ・ 50mL滅菌遠沈管(LP)は、遠心処理を行いますので、底部にスカートが付いている自立型形状のものは使用を避けてください。

50mL 滅菌遠沈管

《検体回収までは冷蔵  
保管してください。》